

障害者差別・合理的配慮に関する意見
ささえあいプラングループインタビューから

- 対 象 ・ 身体障害者会・いとよ朗読奉仕会・青空工房・さざんかの会・家族会
 ・ 点訳友の会・ひすいの里総合学校（保護者）ろうあ協会・くれよんの会
 ・ 高田特別支援学校白嶺分校（保護者）・いちょうの家保護者会
 ・ あげぼの保護者会・療育児の保護者

実施期間 令和2年7月～10月

	差別に関する意見	合理的配慮に関する意見	解決策など
住まい			グループホームに入り一番安心したのは、24時間スタッフがいること。
就労に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用することのデメリットのほうが大きく罰金等を払えば、障害者を採用しない。 ・ ハローワークでも視覚障害者の求人はない。 ・ 市職員も障害者枠の採用はない。 ・ 障害者雇用も、臨時職員採用で、障害者枠として求人はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糸魚川で働きたいという人に機会を与えて欲しい。 ・ 仕事復帰をしても、いずれやめざるをえない立場で不安でいっぱいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の働く姿を見せたい。 ・ 就労支援施設のゴミ分別を見ると、お世話になっていると感じる。 ・ 障害者の働いている姿を発信して欲しい。 ・ 障害者雇用をしている企業をもっとオープンにして欲しい。
情報伝達		<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにアップするときは、テキスト版も同時にアップされるように。遅れると情報が届く時間に差があることになる。 ・ 講演会などが開催される際、行きたくても行けないという声を聞く。 ・ 病院、図書館、店舗で耳マークがあった。対応はマスクを外して大きな声で話すだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホやパソコンに詳しい人が困ったときのお助けパソコンボランティアをしてくれたら良い。 ・ 意思疎通支援事業で聴覚障害者に対する手話通訳の派遣が行われている。 ・ 手話言語条例についてミニ講座も開設したし、手話通訳も設置され前進した。 ・ 筆談ボードがあれば良い。

	差別に関する意見	合理的配慮に対する意見	解決策
余暇活動 ボランティア		<ul style="list-style-type: none"> ・会に参加したいが、送迎が必要。一人では行動させられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害で箱を契ると癒される人が。箱を寄付したがそれもボランティア。
社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大火の後の計画について、障害者について意見を聞いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者でも気軽に行けるような配慮があれば良いと思う。 ・ゴミ収集についても検討して欲しい。 ・視覚障害者は、イベントなどがあっても、ひとりで会場に行くのも困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の段差などがもっと無くなれば、車いすや歩行器を利用する方にとってよい環境になると思う。
市民理解	<ul style="list-style-type: none"> ・町に出さない。人の目が気になる。 ・「今日も頑張ってるね」という人もいれば「あんたいくらお給料もらっているの」と聞く人もいる。 ・知的障害、発達障害の親御さんは肩身が狭い思いでいる。 ・市役所に白杖について行ったが、自分から声をかけなければ、案内してくれる人がいなかった。 ・障害者のいる家庭では、大声を出す時もあり、周囲も付き合いが難しい様子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児の保護者がリハビリ通院などで気軽に休みが取れるように配慮している企業に助成してほしい。 ・障害がある本人が、周りに遠慮しながら外出している…という気がする。 ・ヘルプサインを出すのは難しい。腰が痛いからちょっと荷物持って、と言いき易い社会になるといい。 ・市民の理解は一步一步。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者への対応の周知や理解を広げて欲しい。 ・障害福祉をもっと宣伝して欲しい。 ・視覚障害者の方にどう声を掛けていいかわからない。 ・声を掛けると「自分で出来ます」と言われる。講座で関わりを教えて欲しい。 ・特別支援学校の学習会で褒めたら、街で声を掛けてくれた。 ・声を掛けると指導者は挨拶するが、本人は黙る。どう声をかけていいか。 ・活動を広報に載せて欲しい。
医療		<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリで富山や長岡まで行かなければならない。市内の医療機関がもっと充実するとよい。 	

	差別に関する意見	合理的配慮に関する意見	解決策
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、高齢者や障害者は訓練できているか。自分は参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者はハザードマップを見られない。「あなたのところは海拔〇m」などの情報もテキストで書いたものがあると良い。 ・1人では避難が困難だったり、家族がいても困難な人がいる。自分も地域のどこに障害者がいるか把握していない。防災と相互関係の中で行政は音頭をとって欲しい。 ・災害時、聴覚障害者だとわかってきているか、困っているとわかってもらえるか。⇒受付で確認をしています。 ・市の災害マニュアルが言語条例制定後、具体的な対応法に改善されたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について。災害の際に逃げるところはどこなのか、また、民生委員は誰なのかなどを連絡するための訪問が1年に1回でも良いからあると良い。 →障害者を把握している地区もあれで出来ない地区もある。避難は基本的には地域で行う。進んでいる地域をモデルとして他の地区に学んでもらう取組をすればいいのでは。 ・命を守る防災ハンドブックを障害係か視覚障害者からか要望があり、音訳した。障害者から避難所を強調して話して欲しかったと言われた。 ・避難所で情報の看板をもって回って欲しい。 ・避難所で手話通訳とわかる腕章が欲しい。
交通		<ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川駅のみどりの窓口がなくなると聞いた。 ・高齢者や障害者でバスや車に乗れない人が病院へ行く時などにどんな対応をとるか。 ・バスが不便になった。用件の場所に行っても帰るバスがない。 ・バス停で雨風がしのげない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車が半額。町にちょっと行くのに便利。 ・おでかけパスで、作業所に通わせてもらっている。 ・自動車免許が取得できない場合、通勤がネックになり就職先が選べない。通勤支援があるとよい。

